



2学期が始まります。どうぞよろしくお願いいたします。

2学期は大きな行事が多い学期です。体育大会を皮切りに、児童生徒が力を出す、力を出し合う場面が多くあります。児童生徒一人ひとりが存分に力を出せるように、保護者の皆さまとともに本校教職員が支え、思い通りに力を伸ばしていけるような2学期にしたいと思っております。

## 奉仕作業ありがとうございました

8月18日(日)の奉仕作業に参加していただきまして、ありがとうございました。暑い日となりました。帰宅してから、体調は大丈夫だったでしょうか。

事前にお渡しした役割分担表に沿って、ふだんはきっちりと環境整備することができにくい場所を整備していただきました。

- ・ ほこり、土汚れ、クモの巣等をきれいに取り除き、手を伸ばして汚れを拭き取ってくださったガラス拭き。窓拭き用に工夫した道具を持参くださり、作業がスムーズに進みました。
- ・ 草刈り、草集め、トラックに搬入と見事な連携で効率的な作業をしてくださった草刈り、溝そうじ。7月にシルバー人材センターの方々が、一定区画の草刈りと溝そうじをしてくださっていました。例年に比べて草刈りがはかどった場所があったことでしょう。
- ・ 昨年以上に運動場全体に勢力を広げた草。一本一本草引きをすると、運動場の草がなくなっていくぞと、少しでもやりがいを感じてもらえることを願って前もって入れておいた、草なしエリア。草引きをすすめるにつれて草の島がなくなっていく、草なしスペースが広がっていく様を感じていただけたでしょうか。今後、よりよい活動にするために、よい考えがありましたら学校へ届けてください。

皆さまの力を貸していただいて環境を整えていただいた学校で、子どもたちとともに気持ちよく学習ができます。本当に、ありがとうございました。今後とも、吉野さくら学園をよろしくお願いいたします。最後になりましたが、今回の奉仕作業に、地域の草刈りボランティアの方々、シルバー人材センターの方々が参加してくださっていたことをお知らせいたします。ご協力ありがとうございました。

## 皆さんの夏休み。いかがでしたか

児童生徒の皆さん、思い出に残る、充実した夏休みになったでしょうか。夏休み中に皆さんがつくった作品を見せてもらうのが楽しみです。また、夏休みの思い出話を学級で紹介したり、友達と話をしたりするのですね。あなたしか味わえなかった今年の夏休みの出来事を、たくさん伝えてください。

## 手を振ることで、通じ合うことができます。

私が味わった出来事を紹介しますね。

鉄道好きな私は、この夏、あるローカル線(秘境と言われるような山間部を走る列車)に乗りました。夏の山々と川が織りなすきれいな風景を楽しんでいたところ、沿線の所々で、私が乗っている列車を見かけた人々が、列車に向かって大きく手を振ってくれるのです。

列車を見に来た子どもとその家族、列車の写真を撮る人、鉄道の近くで仕事をしている地元の人、等々。田んぼの草取りをしていたおじさんが、草取りを中断して列車に手を振ってくれたのは驚きでした。

私も列車の車窓を通して大きく手を振り返っていたのですが、ふとある考えが浮かびました。「手を振ってくれる方々は、どんな思いを届けようとして手を振ってくれるのだろう。」さて、皆さんは、どう考えますか。

私は、こう考えました。知り合いではないので、ただ単にさようならではないだろう。それならば、初めてこの列車に乗った私のような人に対して、「よく来てくれました。」「来てくれてありがとう。」「また来てね。」「帰ったら、またがんばりや。」「私らは、ここでがんばってるで。」等々。私が考えた、手を振ってくださった方々の思い。いかがでしょうか。

手を振るという動作は一つですが、そのなかにはたくさんの、色々な意味が込められているのだな、込めることができるのだな、と感じました。言葉にすることなく、一つの動きを通じてたくさんの思いを伝えられる、受けとめられることができるのです。手を振ること、これからも大事にしたいと思えます。だから、2学期も南門前で手振りが続けていきます。「おはようございます。」「さようなら。」だけではなく、たくさんの、色々な意味を込めて手を振るので、皆さん、受け取ってくださいね。